

# 東京桑野会会報

●2022年4月1日発行●発行・編集人 石井俊一●発行所 東京桑野会事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目8番15号 青柳ビル7階 石井総合事務所内



No.44

「旧本館と旧正門」

撮影：昭和46年（1971年）4月

- ①桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓の親睦の会であること
- ②会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③何らかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

## ご挨拶

東京桑野会会長代行  
浅川 章（76期）



新型コロナウイルスが中国武漢市で確認されてから2年半、1世紀前のスペイン風邪以来のパンデミックとなり、終息の見通しは立っていない。ウイルスは、いつどのようにヒトにもたらされたのか発生源はまだ明らかになっていない。専門家は、人の活動域が地球大に広がり、野生動物の生息域を奪い、その動物界に存在するウイルスが人間社会に飛び出し、ヒトに感染したという。本来、ウイルスは宿主となる野生動物と共生関係にあるが、農作物と家畜の生産のためアマゾ

ン等世界で森林破壊が拡大し、野生の世界が破壊されつつある。こうした破壊が、食べる以上のものが大量に生産、消費、廃棄されるグローバルな資本主義経済の中に組み入れられ、止められなくなっていると警鐘を鳴らす。

つまり、新型コロナのような新興感染性のウイルスが人間社会に入ってくるのを抑止するために、加えて、気候危機に瀕している地球環境を守るためにも、グローバル資本主義経済からの転換が求められている。

# 東京桑野会2022（令和4）年度定期総会・懇親会のお知らせ

東京桑野会では下記の要領にて、定期総会・懇親会の開催を予定しております。

しかしながら、新型コロナウイルスに基づく社会情勢の動きによりましては、急遽、定期総会・懇親会の開催を見送らざるを得ないことも考えられますので、どうぞご理解ください（その際は、あらかじめ事務局から出席回答者へ個別にご連絡申し上げます）。

本年の総会を実施する場合、開催場所とも協議のうえ、次の要領で行うこととなりますので、あらかじめご承知おきください。

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| (1) 日 時：令和4年6月3日（金曜日）           | 17:00 受付開始                                  |
|                                 | 17:30 総会開始                                  |
| (2) 場 所：ホテル椿山荘東京                |   |
|                                 | 東京都文京区関口2-10-8 TEL03-3943-1111              |
| (3) 会 費：懇親会費 ¥10,000（年会費は含みません） |   |
| (4) タイムスケジュール                   |   |
|                                 | 17:00～ 受付開始                                 |
|                                 | 17:30～ 令和4年度定期総会<br>（浅川会長代行の会長職就任についての承認、他） |
|                                 | 18:00～ 懇親会                                  |
|                                 | 19:00 解散                                    |

●当日は、総会・懇親会とも、参加者はテーブル席にて着席のうえおこないます（参加者の移動なし）。

●食事は、椿山荘しつらえのお重となります。飲みものはビール・ワイン・ウイスキー・ソフトドリンクです。

なお、会場の都合上、参加者の人数に制限があります。

①同封のハガキには、出席者のみ連絡先等明記のうえ投函願います。

②年会費2,000円は、総会出席の有無とは別に、同封用紙によりお振込をお願いします。

③懇親会費10,000円は、総会当日、現金でお支払いください。

◇昨年度は、2021年6月4日（金曜日）に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、急遽中止となりました。

☆母校は今年（2022年、令和4年）、創立138周年を迎えます。その母校の現在の様子を、母校からの情報をもとに紹介いたします。

☆新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大は、第〇波と表現されるようになりました。〇が6になっている現在ですが、その収束に少しの光が見えてきた（※全国の感染者数が頭打ちになった？）本稿執筆時です。数字が増えて行かないことを祈っています。

☆母校では、コロナ禍の中、令和3年4月、137期生が入学いたしました。新入生の入学時の感想を聞くと、「対面式」と「応援歌練習」に強烈な印象を持った人が多かったとのこと。前年は、それらは中止もしくは延期されたと聞いていました。新2年生（136期

生）は、そういった経験もものともせず、新3年生（135期生）とともに、新入生を歓迎してくれたのです。伝統を伝えてくれてありがとう。令和4年4月入学の138期生も、先輩は強烈に歓迎してください！

☆母校の行事も、様々な工夫をしながら、実施されました。校内ロードレースは中止となったものの、新入生（1年生は）、独自にミニ体育祭を学年で開催しました。自分たちで、運営を取り仕切ったのです。よくやった。

☆スペシャルな行事も、いろいろと実施されているのです。東日本大震災時の福島第一原子力発電所事故・事故後10年の節目の年を迎え、現在にも残る福島の課題について、経済産業省資源エネルギー庁の方が、希望する生

徒に対して講演を行いました。また、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）活動の一環として、SSHのドイツ・フランス海外交流説明会が開かれ、3年生が英語によるプレゼンテーション（日本語訳題名：より良い福島を目指して）を行いました。Web会議でいろいろなことが出来るようになった、ことは時代の最先端ですね。

☆コロナ過の中、部活動も頑張っています。全校生の加入率は、94%とのこと。全国大会への出場は、生物部、囲碁部、放送部。東北大会出場は、陸上部、剣道部、水泳部。ますますの活躍を祈念します。

☆大学受験でも、2021年度（2021年春の入学）の大学生は、新システム「大学入学共通テスト」へ入試の仕組みが

変わったことなどから、大きなプレッシャーがかかりました。母校の後輩達は、現役生（134期生）だけでも、国公立は計181名の合格となり、ここ10年では最高の数となりました。私立大学では、東京の有名私立大学での健闘が目立ちました。首都圏に来た若き安積OBよ、東京桑野会に来たれ！大いに歓迎します。

## 会員消息

○逝去された方々のご冥福をお祈りいたします。（ ）は期、逝去された日。

敬称略。

熊田 力雄(51期)(平成24年6月15日)  
渡邊 忠雄(51期)(平成23年)  
吉田 弘元(52期)(令和3年3月22日)  
鈴木 達也(54期)(平成30年9月3日)  
神山 正幸(56期)(令和2年12月30日)  
大平 重幸(58期)(令和元年7月5日)  
菅野 信夫(58期)(平成26年)  
武井 修一(61期)(令和3年1月21日)  
佐藤 啓(62期)  
古川 清(62期)(令和3年4月15日)  
橋谷 尚志(64期)(平成29年7月)  
丸山 昌也(64期)(令和2年4月26日)  
後藤 稔(65期)(平成26年4月21日)  
谷川 亘(66期)(令和2年11月26日)

相楽 清一(67期)(令和2年5月)  
青山 掌三(68期)(令和3年2月11日)  
糠沢 和夫(68期)(令和2年9月28日)  
小熊 均(69期)(令和2年6月15日)  
田中 武久(69期)(令和2年5月)  
溝井 英二(69期)(令和元年12月5日)  
安藤 喜保(71期)(令和2年4月27日)  
宗像 勇(71期)  
藤田 勝正(71期)(平成27年7月22日)  
皆川 宏(79期)(平成30年1月24日)  
厚海 文明(82期)(令和2年11月16日)  
木田 正美(84期)(令和2年11月)  
鈴木 弘人(91期)(平成30年)



## 新たな時代へ

安積桑野会会長  
安孫子健一(80期)

東京桑野会の皆様には如何お過ごしでしょうか。日頃は安積桑野会の活動にご支援をいただき、心から御礼申し上げます。

2020年1月に国内感染者が発生した新型コロナウイルスは、幾度かの感染爆発を経ながらなかなか収束の道筋が見えて来ません。昨年末から拡大し

たオミクロン株のために、新規感染者が急増している状況です。皆様の健康と、対面での会合が早期に再会されることを願っています。

学校行事を始め各地桑野会活動が制限される中、昨年4月古川清会長のご訃報に接することとなりました。東京桑野会会長としてのご活躍は皆様ご存知の通りですが、朝河貫一博士を讃える活動にも取り組まれ、2004年に設立された朝河貫一博士顕彰協会の会長として、亡くなられるまで舵取りをされました。最大の業績は2007年10月、朝河博士が教壇に立ってから100周年を迎えた米国のイェール大学に「朝河記念庭園」を造られたことです。イエー

ル大側との交渉は難航しましたが、古川会長と当時駐米大使だった加藤良三氏がタッグを組み、見事難局を乗り切られました。造園が実現したのは、「学内や国際間で揉め事や紛争が起こった時、関係者が国籍や立場を超えてこの庭園に集い、自由に意見を交わし問題解決が図れるように」との理念が賛同を得たとお聞きしました。古川さんの思いを受け止め、伝え続けて行きたいと思います。改めてご冥福をお祈りいたします。

さて、福島県教育委員会は、2020年2月に策定した「中高一貫教育後期実施計画」の中で、新たな中高一貫教育校を安積高校に併設型で設置する

ひととき、日々の喧噪を離れて。

そこには、さながら森のような庭が広がっています。  
東京のまん中にあるとは思えない、静寂につつまれたやさしい時間を、心ゆくまで味わってください。  
At Hotel Chinzanso Tokyo, we are honored to share this heritage with you through our services and accommodations and especially our legendary garden. Discover the essence of Japanese hospitality.

ホテル椿山荘東京  
〒112-8680 東京都文京区関口2-10-8  
10-8, Skiguchi 2-chome, Bunkyo-ku, Tokyo, 112-8680, JAPAN  
TEL.03-3943-1111

世界をもてなす、日本がある。

三 HOTEL 椿山荘 TOKYO  
CHINZANSO

こととしました。その設置に向けて、2021年3月5日、「福島県立安積中学校・高等学校（仮称）整備に関する基本計画」が公表されました。「基本計画」では学校の概要や教育内容、開校に向けた教育内容等準備計画、施設整備計画についてまとめています。それによれば「学校名は福島県立安積中学校・高等学校（仮称）。開校（予定）年度は2025年度。設置課程・学科は全日制普通科。生徒募集定員は中学校2クラス60名。通学区域は県下一円。スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業における課題研究を軸とした産学官連携、地域との共創等を特色とする取り組みや、文化活動を尊ぶ郡山市の立地を生かした教育内容とする。また、教育の柱としてSTEAM教育\*の推進を掲げ、創造力・表現力・課題解決等を育成する。」とあります。

生徒の高い志を実現する質の高い学力を育成し、進学指導拠点校として、

県全体の学力向上を牽引する教育内容とする学校作りに取り組む予定です。

新校舎の設計者選定は、安積中高一貫校整備事業基本・実施設計業務の公募型プロポーザル方式により実施されました。昨年の6～7月に公募、26者の応募があり、10月11日に6者に対し公開ヒアリングを行った結果、最優秀提案者に千葉学建築計画事務所（東京都渋谷区）が決まり、県は12月23日同事務所と契約をしました。

業界紙によれば『千葉学建築計画事務所案は、安歴博に新校舎を連ねるもので、新棟は市松状に積層する「キューブ」を北側、グリッド状の「フレーム」を南側に置き、これらが絡み合う多様な学びの場を構築し、間をコモンスペースでつなぐ。構造はRC造とCLT混構造を想定している。分節化された小部屋が集団学習や少人数指導などに柔軟に対応でき、安歴博に面したファサードと合わせ、複合的な要

素の整合が図られていると高く評価された。』とあります。

建設計画は、「安歴博南側に中高一貫棟2～3階建て延べ約4,240㎡を整備する。既存施設（図書館棟、家庭科総合実習棟等、駐輪場）の解体とこれらを既存校舎に設けるための改修設計も含まれる。21～23年度で基本・実施設計、23～24年度で建築工事を行い、25年度に開校する。」となっています。

私たちの母校がどのように変容するのか、楽しみでもあり、一抹の不安もあります。同窓生の皆様とともに、注視して行きたいと思えます。

※STEAM教育・・・Science（科学）・Technology（技術）・Engineering（ものづくり）・Art（芸術）・Mathematics（数学）を重視する教育



## 御館校のことなど

安積高等学校 校長  
鈴木芳人

会員の皆様には、日頃より母校に多大なる御支援をいただきますこと、感謝申し上げます。令和3年4月1日、安積高等学校第46代校長として着任いたしました。着任早々、4月15日に東京桑野会古川清会長の訃報に接することとなりました。私はお会いすることが叶いませんでしたが、過去の会報に寄稿された巻頭言からは、古川会長の外交官としての経験を踏まえた平和を希求する心情や、母校の後輩を思う気持ち、そして何よりも安積の卒業

生としての矜持が伝わってまいります。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和3年度は前年度同様、新型コロナウイルス感染症に翻弄される一年となり、教育活動は大きな影響を受けております。東京オリンピック・パラリンピックの開催と軌を一にしたような感染拡大第5波の襲来があり、学校生活は感染予防のため制限を余儀なくされました。安積黎明高校との野球部定期戦、校内ロードレース大会等は中止せざるを得ず、部活動の大会、コンクール等は開催されたものの、無観客か観客数が制限される場合が多い現状です。安高生の活動の成果を、多くの方々にご覧頂く機会が少ないことに忸怩たる思いであり、人と人とが直接交流できない状況に、もどかしさを覚え

るばかりです。そんな中、令和3年12月に136期生が四国への修学旅行を実現できたことは、今後に繋がる大きな歩みでした。校内幹事の小林幸大教諭（109期）の同期生が小豆島在住であり、その縁あって現地でお世話になるなど、改めて全国で活躍する桑野会員の層の厚さを感じたところです。

桑野会の活動においては、東京桑野会をはじめ各支部にお邪魔して会員の皆様方とお話しする機会がなく、残念でなりません。本稿を執筆している令和4年1月時点では、オミクロン株による感染症第6波が猛威を振るっておりますが、令和4年度は皆様と歓談する機会があることを願っております。

さて、本県教育の大きな課題として県立高校改革があげられます。少子化に伴う生徒数の減少、高校教育に関す

る意識の変化、交通事情の変化など様々な要因を背景とした改革の必要性は、以前から叫ばれておりましたが、東日本大震災後の状況の変化が改革の必要性を加速化させ、現在、令和元年度から5年間の「県立高校改革計画・前期計画」が実施されております。この改革において安積は、県内4校の進学指導拠点校のうちの1校に指定されており、令和4年度からの単位制・コース制の導入や令和7年度からの併設中学校設置に向けて準備を進めております。一方、県全体では、高校の統廃合を余儀なくされる状況にあり、県立高校は令和元年度の90校から改革の完成する令和10年度には71校にまで減ることになります（休校中の相双地区の高校を除く）。

この改革の一環として、安積高等学校の御館校が、令和4年3月をもってその歴史に幕を下ろし閉校となります。ここで、頁をお借りして御館校について記したいと思います。

御館校は、昭和23年、戦後の学制改革の中、田村高等学校御館分校として当時の御館中学校の教室を借りて開校し、爾来74年の時を刻んで参りました。阿武隈の丘陵の中腹、歌舞伎で有名な郡山市中田町柳橋の地に立ち、これまで地域社会を支える有為な人材を輩出しております。卒業生は、最後の生徒となった令和3年度の3年生を含め2,394名を数えます。学校設立の

初期から続く生徒会文芸誌「溪流」をひもときますと、誕生から現在に至るまで、地元中田町の方々をはじめとする多くの方々の熱い思いが、脈々と受け継がれてきていることを実感いたします。

設立に当たっては、当時の田村郡御館村村長、宗像直幸氏（本校21期）を始めとする地域の方々が、戦後社会における子弟教育の重要性に思いを馳せられ、「地域づくりは人づくり」の決意を持って県当局に要請し、その熱意が通じ創立に至ったものです。開校当初は、勤労青年のための定時制課程農業科・家庭科が設置され、その後、校歌の制定（昭和32年）、行政区画の変更による安積高校への移管（昭和42年）、時代・地域の要請に伴う定時制から全日制過程普通科への転換（昭和48年）、現在の柳橋の地への新校舎建設（昭和55年）など、幾多の変遷を経て今日を迎えております。開校初期、学校存続のために在校生自らが近隣の後輩宅を訪問し、高校教育の必要を説いて入学の勧誘を行ったなどの逸話は、戦後の新しい社会に躍動しようとする若者のエネルギーを見る思いがいたします。現在の校舎は、普通科への転換に際し、より良い環境で生徒に学んでもらいたいという地元の方々の思いに始まり、移転用地の選定から県・市当局、地権者の方々との交渉など地域の総力を挙げての御支援があっ

て実現したものであり、「第2の開校」と呼ぶべきものでした。

過去を知る方に話を伺うと、かつては本校と芸術鑑賞教室など行事を共に行ったこともある様ですが、近年は生徒数が減少し、最後の卒業生は10名となりました。少人数の中でも体操部が学校の象徴となり、令和3年度には新潟県で開催されたインターハイ全国大会の新体操競技に男子1名が出場し、中田町の方々から贈られたレオタードを纏い見事な演技を見せました。最後の生徒達は、コロナ禍という予期せぬ事態をも、ソーシャル・ディスタンスが取りやすいという利点として捉えるなど、高校生活を満喫して旅立って行きました。時代の流れの中、御館校の閉校はやむを得ないことではありますが、その歴史を振り返る時、かつて我々の先達が有していた教育への渴望や、地域の方々が学校に寄せる思いを感じ、教育の不易たることについて考えさせられたところです。

私自身、御館校の最後に関わったことで、先輩諸氏の母校に寄せる思いを強く感じました。この思いを胸に、今後とも安積高校の発展に貢献してまいりたいと考えております。東京桑野会の皆様には、今後とも母校安積高校に対しまして、温かいご支援・御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# 小橋クリニック

院長 小橋主税（86期）

福島県須賀川市仁井田大谷地172-3  
TEL 0248-72-1555

## 幹事長の任を終えて

上石 利男（80期）

2014年（平成26年）4月に斉藤英彦さん（69期）からバトンタッチされ、丸7年間、東京桑野会の事務局を預かり、昨年無事に石井俊一さんに新幹事長を引き継ぐことができました。

あろうことか、ここ一両年で東京桑野会の中心軸であられた古川清さん・斉藤英彦さん・高松豊さんがみまかることになるうとは夢想だにしていませんでした。思い返せばお三方それぞれに個性豊かで東京桑野会の後輩にそそがれる慈愛と情熱には、ただただ頭が下がる思いでありました。心から哀悼の意を表します。

幹事長に就いて以来、役員・幹事の皆さんと打合せを兼ねた小会合をもって和気藹々と一献傾けることは、まさしく至福のときでした。参加の可否を問うメールや電話への応答にも皆さんの個性が垣間見えるものです。いつまで経っても返答がこない人の顔ぶれは毎回同じです。

役員会や総会を終えると、いつも感心させられるのは、時間を置かず必ず古川会長から事務局に電話があったこ

とです。良きにつけ悪きにつけ、率直にご自分の感懐を述べられるのです。その細かな気遣いには舌を巻くほどでした。

また東京桑野会が誇れる活動として、会報の編集発行とホームページの管理運用が挙げられます。これは、ひたすら渡部良朋さん（91期）芳賀雅美さん（86期）のご尽力のたまものです。あらためて敬意を表します。この二大ツールこそが未参加会員を招き入れる二大柱になっているわけです。

時々事務局には「会員になった覚えはない」とか「勝手に振込用紙を送りつけるな」とのお叱りの電話が入りますが、そこは同じ学舎の卒業生ですので、ご容赦、ご容赦……。

痛恨の極みは、二年続けてホテル椿山荘での定期総会・懇親会が中止になったことです。コロナによる災害とはいえ、椿山荘はじめ関係者にご迷惑をかけたことは残念です。

もっとも幹事長役は懇親会でも気の休まることがないため、せっかく同窓の友と会っても懇親の実を満喫することはできませんでした。退任した今からは、安達太良に思いを馳せながら親しき友と青春回想に耽るのを楽しみにしています。

## Better than before

関川 浩司（86期）

東京桑野会の近未来～‘新型コロナウイルス禍を超えて’のテーマでの寄稿依頼のお便りを副会長の渡部氏からいただいたのが昨年11月、コロナが猛威を振るった第5波が一段落し東の間の穏やかな日々頃でした。依頼のきっかけは小生が日頃から自分の思いを綴っているブログ‘院長の一言’をお読みになるとの事。コロナ禍前までは芸術、歴史、格言など毎日、院内の朝礼でスタッフに話しているたわいもない一言を書いておりますが、コロナ禍になったここ一年半はこの変幻自在なコロナとそれに対する社会の動きに対してその時々自分の考えを少しでも残しておこうとの気持ちからCOVID-19シリーズと銘打ち始め、今ではシリーズ40を超すまでになりました。

さて86期生の私にとっての安積高校時代は入学時、愛情たっぷりの水風船爆弾を先輩諸氏から浴びせられながらの応援歌の練習に始まり、弊服破帽をよしとし、時には冬でもやせ我慢しての下駄ばき通学、応援旗作りをはじめとし同級生力を合わせ全力で楽しんで体育祭、通学時自転車でさくら通りを駆け上がり、旧安積女子高校前を通過するときの何とも言えない胸のときめき、まさに青春時代でした。卒業後、福島医大に進学し医大安積会に毎回のように出席し、円陣を組み、応援歌そして校歌を高らかに歌い、医師となり大学病院勤めとなった後も安積会参加は続きました。21世紀枠で甲子園出場を果たした折には福島から貸し切り新幹線に乗り、夕刻まで土にまみれながら奮闘していた安積球児たちを応援したこともいい思い出です。たった3年間の高校生活でしたが安積健男児の心意気が体にしっかりと刷り込まれたようです。東京に住み川崎に勤務するようになり16年、校歌や応援歌



挿絵：高松ゆたか（74期）

を歌う機会は椿山荘ぐらいとなりましたが、機会があればいくつになっても‘紫の旗行くところ何処にか我が敵あらん’‘ヤレヤレヤレーヤグルマイタホードンガドンガ’などを歌い続けたいと思います。

コロナの影響はどの世代にも強く影響していると思いますが、特に感性を養うべき時期である生徒、学生たちへの影響は大です。知識は得ることができますが知恵、感性は自ら磨かなければなりません。幼き頃からの経験と人との出会い、書物そして芸術などから身につけた知恵と感性、それらを育むべき大切な時期をWEB授業、密や無駄な会話禁止など制約が多い学校生活を送らねばならない生徒たち。これまで以上に人間性を磨く教育が必要でしょうし、人生経験豊かな異業種が集う本会からも明日を担う若者達に様々な形で発信できたらと思います。

歴史を振り返ればベストガルネッサンスをもたらしと言われていました。このコロナ禍の後、どのような世

界が訪れるのでしょうか？いたずらな恐怖心は猜疑心を生み、人を萎縮させると言います。人類は幾多の困難を乗り越えこれまで連綿と時を刻んできました。明日を信じBetter than Before.の思いで日々を暮らしていきたいと思います。



(院長の一言)

## 新型コロナウイルスの 治療薬の話

芳賀 啓光 (91期)

安積の先輩諸氏、安積の後輩のみなさんに置かれては、コロナ禍において、生活・就業状況の変更、大学生の皆さんに置いては、思っていたキャンパスライフとの違いに戸惑っておられるかと存じます。

事実、私の息子も大学2年生なの

ですが、入学式はなし。授業もリモート。サークル活動もリモート。大学に入って知り合った友人ともリモート。今は、週に一度大学に行っておりますが、楽しいのかな?とも思います。

薬屋ですがウイルス治療薬は専門ではありませんが、コロナウイルスの治療薬について、書かせていただきたいと思っています。

ご存知のように、ウイルスは生物ではありません。RNAを持った物質です。細胞に寄生し、RNA由来の蛋白を細胞に作らせて、自己の増殖を図っております。そして、ウイルスは、人類に多大な被害を与えたのも事実です。見えない相手に対応することがどんなに困難かを示している事例と思います。

不治の病と言われたAIDSを治療するために、医師・薬屋が一生懸命に研究・開発した結果、AIDSは不治の病ではなくなったかと思えます。そして、その開発・研究結果が色々なウイルス疾患の治療薬に用いられていると思えます。みなさんの馴染みの深



# ウイン調剤薬局

(URL <http://www.winpharma.jp>)

ウインファーマグループ 代表 藤田勝久(82期)

～人と人とのつながりを愛します～

《地域に安心安全なお薬のお届けと健康をサポートしてゆきます》  
神奈川県・東京都・埼玉県・千葉県・群馬県・愛媛県・長崎県



Medicure オハナ薬局ウイン未来薬局

WinOHANA group

(URL <http://www.win-ohana.jp>)

ウイン-オハナグループ 代表 藤田勝成

～いつも身近なあなたのかかりつけ薬剤師に～

福島県・栃木県・群馬県・茨城県

インフルエンザ治療薬もそうです。薬の一般名（なかなかご存知の方はいらっしやらないと思いますが）の最後にビル（vir）とついたら、ウイルス疾患の治療薬です。

以後、私の見解ですが（ここは強調します）、単純に言うと、ウイルスはウイルスなのです。コロナ、インフルエンザ、肝炎、ヘルペス、AIDS（後天性免疫不全症候群）等も一緒。治療薬の感染細胞に対する効かせる方法（作用機序）としては大きな違いはないのです。ただ、どこ部分をターゲットとするかで薬が違うと思います。

最近のコロナウイルスの治療傾向として、抗体による治療が報道されています。遺伝子解析が進展した結果、ウイルス増殖抑制剤より簡単にウイルスに対する抗体作成が開発・作成できるようになったかと思います。最近、自宅で治療可能な内服薬も出てまいりました。

1月に入り、オミクロン株の出現で感染が急拡大しておりますが、コロナの治療薬は内服薬を中心に月単位で増えてくるかと思われまます。通常、薬の場合申請より承認まで1年というのが普通です。コロナ関連では、特例承認という特別な制度を使って、申請より早ければ1-2ヶ月で承認され、患者に提供される場合もあります。ある意味で、国のコロナ対策の本気度が見られたかと思われまます。これで、コロナの治療（重症化の抑制）は、かなり進むと思われまます。

このコロナ禍がいつまで続くかは判りませんが、皆様におかれましては、感染予防対策を行っていただき、感染リスクからご自身の感染を防ぐことをお願い申し上げます。

（中外製薬）

## 深化と探索

後藤 大 (107期)

日本は、少子超高齢化社会への道を着実に、一歩ずつ進んでいるので、コミュニティも基本的に超高齢化の道を進みます。そうすると、新しいメンバーが増えていかないと、存続は難しいと思います。ましてや、会費をいただいて運営しているということであれば、それに見合う価値を提供する、ということが必要になります。

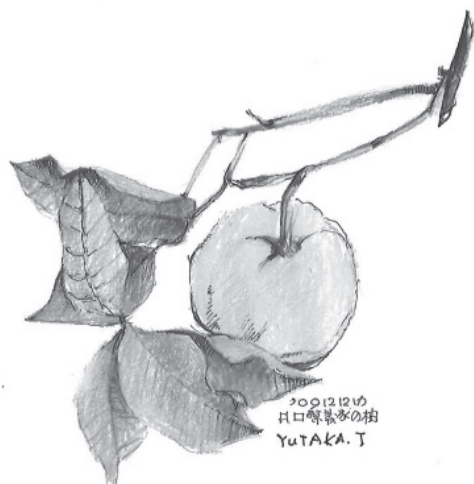
私たちの生活が、新しい生活様式（New Normal）に変わっていく中で、企業価値、生産性、効率性の向上という観点から、デジタルトランスフォーメーションということが言われていますが、他方で、社会全体で見たときに、デジタル化が、デジタルに慣れていない人を排斥するものではあってはならないと思います（慣れていない人は、慣れている人と社会を作るための歩み寄りが必要ではあります）。多様性と包摂性（Diversity & Inclusion）、引いては、各自が社会の一員としてできることをするという観点が、デジタル化の根底にあるべ

きです。一燈照隅、万燈照国ですね。「オードリー・タン デジタルとAIの未来を語る」（プレジデント社）の中で、どのようにマスクの供給をコントロールしたのかという部分は、とても面白く、同書の中で紹介されている「青銀共創」という言葉はとてもいいな、と思いました。

また、デジタル化が進むことで、コミュニティが分断されつつある、という危機感もあります。SNS上で接する情報が、SNSを運営するプラットフォームが設計したアルゴリズムによって、自分と異なる考え方に接する機会が減少してしまうフィルターバブルや、それ以上に、事実に基づかないフェイクニュースが、根拠を確かめられることなく拡散されてしまう危険性がSNS（だけには限りませんが）にはあります。意識的に、事実に基づいた、建設的な意見交換を行うことが求められると思います。根拠が説明不足であると指摘されると、日本人は得てして人格を否定されたと受け止める方も多いように見えますが、それがコミュニケーションがうまく行かない大きな原因でもあると考えています。

イノベーションに関する組織論として、今、世界で最も研究されている理論が、「両利きの経営」（東洋経済新報社）、新たな事業機会の発掘と既存事業の深掘りの二兎を追う（両者のバランスをとる）、というものですが、コミュニティも持続的に発展するためには、伝統的なコミュニティのあり方を深化させながらも、価値を提供するための新しい活動を探索する、ということが必要かと思われまます。

東京桑野会も、COVID-19をきっかけとして社会が変わる中で、例えばオフラインの会場とオンラインによるハイブリッド型の総会や、Clubhouseというアプリの中での雑談の場所を設けるといった、様々な交流の機会を持ってみると面白いかも知れまます。大学進学後東京で生活をしていただけれど、COVID-19でリモートワークが常態になって、生活の本拠地を福島に





する（しようとしている）方もいるかもしれませんが、オンラインで集まることができれば、東京から引っ越した後でも、東京桑野会でのつながりを維持することができるのではないのでしょうか。

今の大学生は、せっかく入学しても、授業がすべてZoomで、実際にクラスメイトと友達になる機会がなかったり、あるいはインターネット回線の容量の問題もあり、YouTubeを観て課題を提出するという授業であったり、と、これまでの大学生とはまったく違う大学生活を送っていると思います。東京の大学に在学していても、出席する必要がないことから、福島の実家にいたり、あるいは、東京で暮らしているために、なかなか実家に帰ることができないでいたり、という方もいるでしょう。大学受験の下見にもなかなか行けないというのであれば、その大学に在籍している人がバーチャルツアーをしてみる、というのがあるかもしれません（これ自体どこかが新規事

業でやっても面白いかもしれません）。その中で、安積高校の卒業生だという共通の背景があるというだけで、世代やいろいろな垣根を越えて、つながりが作れるコミュニティとして、東京桑野会に何ができるのか、それを青銀共創と一緒に考えていくことができたなら面白いな、と思います。

探索活動の一環ともいえる100期以降の世代で活動する若手会もありますし、東京桑野会という縁を繋いで、皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

最後に、新型コロナウイルス（COVID-19）に打ち克つためには、①手洗い、②マスク（不織布か布）、③ソーシャルディスタンスという基本的な対応を心がける以外はないと考えています。ワクチンは、医療の発展にお任せするほかに、新型コロナウイルスによる感染症に日々医療現場の最前線で対応されている医療従事者のみなさまに心からの感謝とエールを。

（弁護士）

齋藤一人さんと私  
～新型コロナウイルス禍を  
超えて～

成田 智彦（114期）

東京桑野会の皆様、こんにちは。いつも感謝しています。

この度、東京桑野会の114期幹事となりましたので、簡単に自己紹介をさせていただきます。在学中は、渡辺昇元安積高校校長先生等の恩師から御指導を頂きながら、ラグビー花園大会・甲子園春季大会観戦などの大変貴重な経験もさせて頂きました。安積高校の皆様のおかげで、開拓者精神（フロンティア・スピリット）の大切さを学ぶことができました。

大学卒業後、現在は特別支援教育（障碍児教育）の公務員として、配慮を要する子どもたち（知的・発達障害等）の支援に従事しています

ところで皆さんは、齋藤一人さんと

不法電波は  
やめましょう！

技術と奉仕の無線機器部門  
ソフト開発と奉仕のコンピュータ機器部門  
ニーズに対応、奉仕の電話機器部門  
株式会社富士通ゼネラル通信特機特約店  
富士通テン株式会社特約店

ATIS(自動識別装置)を  
必ず取り付けましょう！

株式会社 山口電機

www.yamaguchi-denki.co.jp

本社 宇都宮市宮の内2丁目184番地18  
水戸支店 水戸市中河内町67番地1  
さいたま支店 さいたま市三橋1丁目815番地  
東京支店 江戸川区春江町2丁目10番3号  
千葉支店 千葉市稲毛区六方町215番地22  
高崎支店 高崎市倉賀野町5319番地1  
会津若松支店 会津若松市一箕町八幡38番地11号  
横浜支店 横浜市青葉区元石川町3719番地8

TEL(028) 655-1600(代表)・FAX(028) 653-7817  
TEL(029) 227-2205(代表)・FAX(029) 227-2237  
TEL(048) 663-4000(代表)・FAX(048) 663-4274  
TEL(03) 3698-1600(代表)・FAX(03) 3698-1699  
TEL(043) 423-3000(代表)・FAX(043) 423-3503  
TEL(027) 346-4000(代表)・FAX(027) 346-4004  
TEL(0242) 23-1700(代表)・FAX(0242) 23-1701  
TEL(045) 921-5100(代表)・FAX(045) 921-5416

代表取締役 山口雄機（74期）

いう実業家をご存知でしょうか。「銀座まるかん」の創設者で、累積納税額・日本一（2004年までの合計納税額が173億円）を達成している大富豪です。斎藤一人さんは、たくさんの書籍を出版されていますが、その中で私が作成に関わる御縁のあった書籍があります。

『知らないと損する不思議な話』（PHP文庫）という文庫の書籍です。18～23ページと、134～141ページに取り上げられている人物は、まだ若くて未熟な駆け出しの頃の私です。教師として、ダウン症や重い障害のある子

どもたちへの支援で悩んでいることに對して、斎藤一人さんからアドバイスをしていただきました（書籍中に実名で記載されています）。

今回の会報に、会長代行浅川章様、幹事長石井俊一様からご提案がありました「新型コロナウイルス禍を超えて」とあるように、現在、多くの皆様が多様な困難を抱えながら過ごされていると思います。

東京桑野会の理念の1つとして、「何らかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること」が掲げられています。そこで、累積納税額・日本一

の大富豪である斎藤一人さんの書籍が、コロナ禍における皆様にとって何か参考になることもあるのではないかと思います。この度、東京桑野会の皆様にも献本したいと考えております。

献本を御希望される方は、naritatomohiko963@gmail.comまで御遠慮なく御連絡ください。送料も含め、すべて無料でお送りします。献本を通じて、東京桑野会の皆様に貢献できれば、とてもうれしいです。

すべての出会い、すべての御縁に感謝しています。

## 古川清会長との思い出

### 和田 正哉（77期）

東京桑野会の飲み会の席で、古川会長と隣り合わせになる機会があり、その時会長に、会長の後輩で外交官で亡くなった山田広（ひろし）君とは同期で、高校1年から3年まで同じクラスでしたと話したら、会長はとても驚き、和田君は山田君と同期だったのか、と言われた。山田広君は、外交官上級試験をストレートで合格し、イギリス大使起案勤務等の後、35歳でクウエート代理大使になった。その任務中、イラン・イラク戦争が起り、仕事の激務が原因か、B型肝炎にかかったようである（後に判明）。本庁に戻ってから、初代原子力課課長、40歳で北米一課課長を歴任し、ますますの活躍を期待されていた42歳の時、肝臓がんであつという間に亡くなってしまった。会長が安積高校OB会、外務省、日本にとっても、本当に惜しい人材をなくしたよ、しみじみと言っていました。

山田君とは高校より、社会人となって結婚後も、家族ぐるみでのつきあいをしていたので、非常に残念であった。彼の葬式では、母上の希望もあり、身内の中に入れて頂き、骨をひろいました。彼は高校1年の時に父上を亡く

したため、相当苦勞したと思います。彼は、戦前に彼の父上が千葉県市川市に買った墓に、眠っています。市川市は、私がいま住んでいる街です。特別な縁を感じています。会長に、山田君の墓参りに、年に1、2回行っていまずと話したら、前々から彼の墓参りをしたいと思っていた、寺の名前と住所を教えてくれ、というやりとりをしました。それは、昨日のここのようです。お二人のご冥福を心より、祈っております。

また、会長との思い出に残る一つに、ゴルフの件があります。数年前、東京桑野会ゴルフ部会の幹事長だった大内博文氏（71期）が亡くなって、しばらく経ってから、突然に会長より電話を頂き、「和田君、東京桑野会の有志でゴルフコンペをやりたいので、ゴルフ場をとってくれないか」とのことで、何か所か知っているゴルフ場の中で、キャディーマスターが友人であった船橋カントリークラブを予約し、クラブメンバーより安いプレー費でプレーをして頂いた。その後、年に1、2回東京桑野会有志でゴルフをやるようになり、いつのまにか私がゴルフ部会の幹事長を仰せつかるようになり、76期の平田先輩や82期石井さん等皆様のご協力で、ゴルフコンペを開催していました。そんなある年のコンペでは、前の晩より大雨が降り、当日も朝から強い雨が降っていたため、参

加予定の方の何名かから、今日は中止した方がよいのではと電話がかかってきた。会長にも進言すると、会長は「ゴルフ発祥の地イギリスでは、プレーする人が集まり協議して決める伝統がある。我々も集まり、そこで決めよう」と言われた。全員、船橋カントリークラブに集合し、協議の結果、（まだ強い雨が降っていたが）「せっかくきたのだから、プレーしよう！」となりました。少しスタートを遅らせましたが、雨も小降りになり、昼食後には雨も上がり、風呂から出た頃には、すっかり良い天気になっていました。ゴルフ場は、水はけが良く、靴も汚れませんでした。私のゴルフ人生で、強い雨の日に全員が集まり、皆で協議して決めたのは最初であり、その後は一度もありません。会長との強烈な思い出の一コマです。会長との思い出は沢山ありますが、次の機会がございましたら、書きたいと思っております。どうもありがとうございました。

（東京桑野会副会長）

## 古川さんを悼む

### 櫻井 淳（78期）

昨年の4月16日に、上石幹事長から突然の訃報メールが舞い込んだ。「古川会長が亡くなった。」との上石さん

の言葉には「巨星落つ」とありました。考えてみれば、澤田前会長から会長を引き継いでいただいたのが22年前平成12年（2000年）、本当に長く21年間も東京桑野会の会長として支えて頂きました。本当に東京桑野会を愛してやまない大先輩でした。感謝に堪えません。この時まさに、コロナ過で東京桑野会の開催をどうするかを議論している状況でした。当時の上石幹事長の心境は本当に大変だったと思います。

古川さんの同期、63期の皆さんは仲が良く、大津さんが命の恩人としてこの会報にも投稿されていましたが、外務省で大使を努めている時も、親しく安積の同期と交流していた様子は、羨ましく感じられました。古川さんはエリートに相応しいコースを歩まれました。金透小、安積中、二高、東大、アメリカ留学の後外務省そして外務省の大使を歴任しアイルランド大使の後、宮内庁に移られ、東宮の大夫の大役を務められました。

澤田前会長のあと会長を引き受けられる時、まだ若かった自分たちを集め、これからの東京桑野会の発展を願い、各期幹事複数制や専門職コミュニティ的なクラブづくりを展望されました。ゴルフ好きは澤田さんから継続されており、大内（71期）さん、現在和田（77期）さんが幹事役でかなり密度の濃い仲間づくりが行われました。毎年の東京桑野会の役員会でも無類の日本酒好きで、「いいんでないかい」と言いながら、若い幹事さん達との交流を楽しんでいました。

古川さんの東京桑野会への功績は素晴らしく、特に2007年にイエール大学に朝河記念公園の造営に困難な時に、古川さんが支援の功績が大きかったことは、この号の我孫子さん（桑野会会長）の原稿で知りました。そして、2004年に設立された朝河貫一博士顕彰協会を会長として会をけん引されました。また桑野会の「桑野会東京支部」の名称を「東京桑野会」に変えたのも古川さんでした。母校を訪れた時後輩の生徒たちに、東京に来たら必ず東京桑野会に顔を出しなさいと講演会の度に言ったよ、と教えてくれました。私

は2019年の41号の会報の古川さんの巻頭言を読んだ時に、古川さんが朝河顕彰に一生懸命だった理由がわかりました。平和主義者だったからなのだと理解しました。戦時中の安積の校舎が軍事工場と化し、郡山市内に学徒動員で働いていた生徒が爆撃で亡くなった事等、旧制中学最後の63期の中学生の感性で戦争の悲惨さを若い人に伝えたかったのだらうと思いました。今まさにウクライナの問題を古川さんは予測するように思います。古川さん長い間本当にありがとうございました。やすらかにそして東京桑野会を見守ってください。

## 人生雑感

### 関根 健治（73期）

昨年80歳を迎えた。

郡山での18年間の学び、中でも安高3年間の生活を礎えにしてこれまで生きてきた。良きにつけ悪しきにつけ土台はここで造られた。その後、様々な出来事に遭遇して、その都度乗り越えてきたが、色々な感懐がありその主なものも挙げてみよう。

いつの頃からか、中島みゆきの歌唱が気に入り、CDも買い聴く機会も増えた。その中で印象に残る歌詞がその感懐を表象しているので、引用させてもらうこととした。

その一は、「人は獣、牙も毒も棘も

なく、ただ痛むための涙だけを持って生まれた裸すぎる獣たち」世の中の出来事に出くわす都度思い出される詞である。

その二は「NOBODY IS RIGHT」これだという確かなものは無い。己の信ずる所に従って生きるという事か。十人十色、様々な意見、考えにぶち当たるが、何故かこの詞が浮かぶ。

そして最後は「間違わない人は居ない」一番慰められる詞である。

ところで、世情はコロナ騒ぎで右往左往しているが、やはり人類社会にとっての根本問題は格差拡大だろうと思う。しかしながら現実、トマ・ピケティやシャイデルの言うように、人類の歴史は戦争と疫病しか格差を縮め得なかったという結論に接すると、今後のことは判らないにしても半ば悲観的にならざるを得ない。

なお、日本の問題に限って云えば国債残高の多さだろう。現在残高は約1000兆円で国のGDP約500兆円、国民個人の金融資産2000兆円等と併せ考えると、問題を先延ばししているとしか云えないし、これに対し、国民はただ傍観しているだけのように見える。

ところで、わたしが生まれて気が付いた時は、日本は敗戦で惨めな生活を強いられていた時代だった。しかし、その中で大人たちは子供達を大切に育ててくれたように思う。多分、大人たちの罪滅ぼしの気持ちか底にあったのではないかと今にして思う。国債問題



はこれと二重写しになって私に向かってくる。

地球温暖化の問題や食料自給率の低下など問題は山積している。子や孫たちに生まれてきて良かったと思える社会と環境をどうしたら残せるのか、皆で真剣に考える時ではないかと思う。

今現在、「利他」の精神をベースに「明日死んでもいいように生き、永遠に生きるように学ぶ」ように心に刻みつつ日々過ごしている。

## 郡山市の起業家支援

深谷 大一郎 (107期)

私は、郡山市役所の産業政策課で、起業家支援を担当(2022年1月末現在)しています。その中でも、社会課題の解決と事業拡大の両立に挑む起業家を対象にした、短期集中の伴走支援プログラムを立ち上げ時から担当しており、この事業についてご紹介させていただければと思います。

私が、2017年4月に産業政策課に異動となった時点で、郡山市は金融機関や商工会議所等の支援機関とネットワークを形成し、既に情報共有やお互いに連携しながら事業を実施しており、起業家支援の機運の高まりを感じていました。特に、郡山市内には3か所の民間事業者によるコワーキングスペースがあり、起業家の育成や移住者の相談対応等を担っていました。現在では、支援機関による創業塾等のOBから、年間50名程度の起業家や個人事業主が輩出するまでになっています。

そのような中、支援機関ではできないような独自の事業化を模索していた私は、仙台市が実施している、東北6県の起業家を対象にしたプログラムに出会いました。この事業の凄いところは、仙台市が東北6県から起業家を募っているという点です。なぜ、仙台市の税金を使って東北6県の起業家を支援しなければならないのか、疑問に思った私は仙台市に行って担当者に直接会うことにしました。理由は、仙台

市が東北をリードする、経済に行政区域は関係ない、というもので、過去の慣例に従いがちな行政マンとは思えない、大胆かつ柔軟な発想にとても驚きました。であれば、福島県をリードするのは郡山市だ、郡山市でもやるしかない、と考えた私は事業化に乗り出すことにしました。

ちょうどその頃、市町村が連携して行政の取り組みを進めていく動きが始め、2017年11月に、郡山市と近隣14市町村(須賀川市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町)からなる「こおりやま広域連携中枢都市圏(以下、こおりやま広域圏)」が形成されました。(その後、2019年10月に二本松市、2021年4月(予定)に磐梯町が加入。)まさに、この広域圏から起業家を募れば、広域圏事業となり、政策上の主要事業となることを直感しました。

また、国連において採択されたSDGsがメディア等で取り上げられつつあり、郡山市においても各事業とSDGsを関連付けることが求められるようになりました。SDGsは「誰一人取り残さない社会の実現」を目標としていることから、社会起業家をこの事業のターゲットにすれば、SDGsの達成につながるアイデアやサービスを持つ起業家がこおりやま広域圏に集まって、こおりやま広域圏の社会課題の解決につながるのではないかと仮説を立ててみました。そして、やるからには全国から有望な社会起業家を募ってみようと、どんどん夢を膨らませながら事業化を進めていきました。

ちなみに、この事業は前例がなかったため、上司や財政担当の理解を得ることは苦労しました。ただ、こおりやま広域圏をフィールドとすることや、SGDsを関連付けた起業家支援であること等、政策的な2大看板を大きな目的に据えていることから、却下する判断も難しかったようで、最終的には、市長査定で私が説明し、なんとか了承をいただくことができました。構想から事業化まで約1年半かかりましたが、今では、2021年度で3年目の事

業として、こおりやま広域圏内の社会起業家のロールモデルを育成すべく事業に邁進しております。

2021年度は、東京や大阪からヘルスケア系や幼児教育のベンチャー企業が、郡山市内からは風評被害払拭のための6次化商品開発、女性の社会進出のための短時間勤務の仕組づくり、教員支援システム等を担う多種多様な起業家10者が集うプログラムとなりました。特に、県外からエントリーするベンチャー企業は、課題の設定とデータ活用、プレゼン能力は素晴らしく、地元起業家と関わることで、地元起業家のレベルアップに繋がるものと確信しています。今後は、首都圏等からの地方進出を更に支援することで、関係人口の創出や企業誘致に発展することも視野に入りたいと思います。このプログラムが、こおりやま広域圏だけではなく日本全国の課題解決の一助となるよう、そして、現在も脈々と市民に受け継がれ、安積高校の校訓でもある「開拓者精神」が原動力となっている郡山に、チャレンジ精神にあふれた人々が集うよう、2022年度に向けても更なる展開をしていきたいと考えております。こおりやま広域圏へ事業展開したい起業家の方がいらっしゃいましたら、エントリーやご案内等のご支援をぜひよろしくお願いいたします。(こおりやまSDGsアクセラレータープログラム <https://entre-koriyama.com/>)

## 日本館正面玄関の柱2本について

水口 禎 (67期)

2008年(平成20年)12月15日に逝去されました、当時副会長で会報編集委員をご担当されていた、水口禎さんの遺稿となる会報では未発表の記事を掲載します。当会の母校創立120周年記念式典の後に執筆されたものです。水口さんは1級建築士でもあります。

【2004/06/27 水口 禎】

この度の母校創立120周年記念総会は全員の協力で、大成功裏に終えることが出来ました。会員全員に感謝したいと思います。

さて、今総会出欠の「通信欄」に大変興味のある「返信」がありました。66期の石川博章氏からのもので首題に関するご提案でした。

[原文] \*\*\*\*\*

『安高の本館の正面二階ベランダを支えている四本の柱の中、正面の二本は欠けたままになっています。120周年記念行事までに修復出来ないものでしょうか。』

\*\*\*\*\*

私自身も「修復完了時」から、ある「違和感」を持っていたのも事実です。高松さんからも何度もその「違和感」又は「不自然感」を聞いておりました。そこへこの度の石川氏からの通信です。多くの方の違和感と誤解(?)もあるかと思ひまして、情報を提供したいと思います。

われわれの共通の誇りある素晴らしい文化財を少しでも正しく理解の上、保存しかつ未来に引き継いでいくことが今生きるわれわれに課せられた責務です。

しかし、文化財の「保存と修復」との関係等には大変難しい微妙な問題が存在するのも確かなのです。何を以て「オリジナル」とし「修復」するのか、「後世の変更」をどう評価するのか。劣化した部分をどの程度まで修復(変更が不可避)することが許されるのか、材料の「取替」は許されるのか、防災上・構造的に不都合な場合はどう対処するか等々。

世界一古い木造建築といわれる「法

隆寺」の場合、創建当時から残存する木材は恐らく皆無ではないでしょうか(これが「改修」の実態です!)。それでも現存の法隆寺は、「世界最古の木造建築物」には違いないのです。その上この世に存在する限り、時間との闘い(加齢!)は不可避です。社会的な存在として、現行の建築法令上はある程度特例措置で規制緩和は可能ですが、防災上の問題、構造上の問題等々世界中の文化財が抱える問題でもあります。少し大袈裟なようですが、「母校旧本館玄関バルコニー」の2本の柱の「修理・復元」は、身近ですがその問題が顕在化した典型的な事例でもあるのです。

東京桑野会創世期から会の発展にご尽力された故土屋七郎氏(57期、元幹事長)から譲り受けた貴重な資料である『重要文化財 旧福島県尋常中学校本館修復工事報告書』を紐解くことにより、修復後の現存する状況を理解することが出来ます。

『重要文化財 旧福島県尋常中学校本館修復工事報告書』1980年9月より抜粋

○第三章 調査事項 ☆第二節 後世の修理

明治22年に竣工した本館の修理及び増改築について…(中略)…大正年間には修理の記録は見当たらないが、写真によると明治33年には玄関の前柱は飾束であるが、大正9年の写真は柱に変わっている。飾束はベランダ床内の栝出し(水口注:ハネ出し)梁で支えていたが、雨水の浸入により梁が腐朽したため支持柱に変えたものである。この修理時期が何年であったのか

資料がなく明らかにできなかった。大正9年の平面図に「理科教室」に間仕切りが加えられ小部屋を設けて準備室としている。明治末からこの頃までに加えられた改造である。…(以下略)…

○第三章 調査事項 ☆第三節 現状変更 (水口注:重要文化財指定に伴い行った「修理工事」直前の状態を現状と言っている)

今回の修理にともなう調査によって建物の増築、改築等の経過がほぼ明らかとなったが…(中略)…昭和18年増築の東側下屋は撤去するが明治33年増築部分は撤去せずほぼこの時期の形に復旧整備することとした。現状変更の内容は次のとおりである。

1. 東面1間通りの下屋撤去…(中略)…
2. 後補の間仕切等撤去…(中略)…
3. 玄関廻りを復旧整備した。

(1) 玄関前面の2本の独立柱を撤去して飾束の旧規に復した。

玄関は八角形を半分にした平面をもち、この各角に柱を建てているが、当初は前方1階の2本は柱ではなく飾束であったことが明治34年の写真で判る。よって前柱2本を撤去して飾束に復した。

注) 2階ベランダは雨漏りによって梁が腐朽し、構造的に無理が生じたので前方の飾束を柱に変えたものと考えられる。2階梁は鉄骨を用いて補強した。…(以下略)…

○第三章 調査事項 ☆第四節 形式技法調査

[軸部]…(前略)…この建物はほとんど大壁であるが隅柱と玄関柱は化粧になっている。隅柱は杉材で角柱面

がんばれ安積 がんばれ日本

渡邊 龍一郎 (81期)

Watanabe Ryuichiro

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-31-5-513  
Phone: 090-1429-6127  
E-mail: watanabe2021@ryu.bz

Dr. 本田の社会保障切り捨て  
日本への処方せん 三訂版



本田 宏 (86期)  
hondahiroshi@me.com



ごうや  
山田・合谷・鈴木法律事務所

弁護士 鈴木 修一 (89期)

〒100-0012  
東京都千代田区日比谷公園1番3号  
市政会館1階115号室  
TEL:03-3501-0451  
FAX:03-3501-0452  
E-mail:shuitisuzuki@nifty.com  
http://www.yamada-law.gr.jp

取り、布石上に角臍を入れて建て、上部は敷桁まで達して飾りはない。玄関柱は八角形に造り、石製礎石の上に建てている。ただし、前端のものは柱ではなく1階部分は飾束となっている。壁際の柱は片蓋であり構造材と云うより化粧に重点がおかれている。礎石には洋風の線形を付け、柱頭は杵木を付けてタスカン風（水口注：トスカナ風か？）にデザインしている。柱の前面には釋杖彫様の飾り溝を付けている。前端を柱でなく飾束にするためベランダ床下で楕出しの構造となっている。前端より内寄りの2本の柱に梁を架け、この梁を支点として主家の壁際から楕木を出し、その先端を臍差しとしている。ベランダは開放であるため床から雨水が浸入し、楕木と受梁が腐朽して構造的に無理が生じたため飾束を柱に変えたものであるが、大正9年の写真では柱となっており、明治34年以降、大正9年にいたる間に柱を入れて補強したものである。…(以下略) …

長々と「報告書」から引用しましたが、私なりに解説した結論は以下の通りです。

『解体大修理時』のベランダ前面の2本の柱は、建築の「加齢」により、当初の設計では構造的に無理が生じたので、過去のある時点で前部に柱を2本建てた。その部分を含めて『修復』に際して、竣工時のオリジナルの形に「復元」するためにその2本の柱を撤去した。ただし構造的には無理があるので、鉄骨で「補強」（当然見えないように）して修復を終えた。

そもそも「見様見真似」で、今まで

全く経験したこともない「西洋建築」に果敢に挑戦して、こんなにも素晴らしい建築を完成させた先輩棟梁と多くの職人たちの開拓者精神には脱帽です。若干の技術的な齟齬などは不可避でしょう。相手は建築と自然と「人」なのですから。

建築は全ての時間のなかに存在する宿命を負われ、保全の手段の一つある修復時に竣工当時の姿に「復元」すること。当初の不自然なあるいは当時は可とされた構造等も現在不都合になればそれを維持するためには、その時代の「それなりの措置」を施すことなのです。これが過去の「文化財としての建築」を保存するための建築であり、技術であり、それに住む（使う）人の義務ではないでしょうか。これがこの建築を創った人たちへの私からのささやかなオマージュです。

(東京桑野会広報部編)

## 安積歴史博物館便り

### 安積歴史博物館業務執行理事 橋本 文典 (84期)

未だに終息が見えない新型コロナウイルスに将来を見通せない日々が続いておりますが、東京桑野会の皆様におかれましては各分野においてご活躍のこととご推察申し上げます。

さて、昨年二月一三日深夜に発生しました地震による旧本館の被災状況の概略は既にお知らせいたしました。その後の状況について述べさせていただきます。

当初、軽微な被災に見えましたが、

調査を進めるにつれ、各部屋のドアの四隅、階段踊り場の壁面、講堂の入口付近の天井や南北両側の壁などに大小のクラックが散見され、補修・修復を要することが判明しました。その後関係機関と協議を進め、災害復旧事業を実施することとしましたが、今回の修復には着工事前に耐震診断の実施が義務付けられました。昨年一二月から、梁や柱の内部構造、床下基礎石の状況、更にボーリングによる建物周辺の地盤調査等を行っております。今年で一三三年を迎える旧本館ですが、初めての耐震診断です。(何故か「人間ドック」の結果を待っている気持ちです)。耐震診断は令和三年度中に終了し、その結果の下に令和四年度から修復事業が開始されますが、補強材設置の有無や工法の確定等、着工までの課題は現在のところ未定です。補強材の必要が生じると壁の搔き落とし作業も発生し、長期間の休館も予想されます。修復費用については、災害復旧のため最大限の補助金が予定されますが総額の一五%は当館の負担となります。

参考までに旧本館の大規模な修繕工事は、記録のある範囲では、重要文化財指定時の「半解体修理」と「東日本大震災修復工事」の二回です。いずれも二年から三年を要しており、今回も最悪の場合同等の期間の可能性あります。一方、一つの見解として「十年前の被害と比較すると、その際採用した新工法が功を奏し、崩落を免れている箇所もあり、表面補修だけで完了することも考えられる」との意見もあります。

学びの場として誕生した旧本館ではありますが、新しい「時代」に対応し

21世紀をリードする  
安積SPIRIT!

浅川 章 (76期)

東京桑野会副会長  
〒338-0821さいたま市桜区山久保2-18-3  
電子メール: chobi@hyper.ocn.ne.jp

労働保険の特別加入  
1人親方労災保険加入のご用命は!

労働保険事務組合  
神奈川SR経営労務センター

会長 佐藤 重夫 (79期)

(特定社会保険労務士)

事務局 〒231-0005 横浜市中区本町4-36  
朝日生命横浜本町ビル8F  
TEL: 045-212-5269  
FAX: 045-212-3177  
<http://www.kanagawa-src.gr.jp>

信愛病院

医学博士 渡辺 哲弥 (70期)

(練馬区東大泉7-14-15)

た旧本館の魅力も発信し続けています。「成人式や婚礼に際しての記念写真」、「コスプレイヤー等の自己表現」、「地元テレビ局の旧本館で番組作成」、「県や市の紹介による大手旅行雑誌への写真の掲載」等々です。

明治二十二年創建当時は「桑野御殿」と称され、近代日本の牽引車の如く若々しい魅力に満ち溢れた、進取の気概を体現した建物であったに違いありません。その後、時代や年代を超越した建物として「凛として」存在し、今日においても新たな魅力を持ち続けています。時が移り人が代わっても「内なる輝き」を失うことの無きよう、事務局一丸となって努めてまいります。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

## 朝河貫一博士顕彰協会 便り

矢吹 晋 (70期)

顕彰協会の創立以来、顕彰活動に大きな役割を果たして来られた古川清会長のご逝去に伴い、代表理事を務めてきた矢吹が後任会長に就任した。しかしながら、2021年度を通じて、コロナ禍のために、実質的な活動はほとんどできなかったが、特筆すべき事柄が一つあったので、ご紹介したい。それは株式会社高野の1億円寄付によって、2022年度から「朝河貫一記念奨学金」制度が設けられ、米国留学生への支援プロジェクトが発足したことである。高野から福島県への寄付受納式は2月16日に県庁で行われた。顕彰

協会はこの制度の運用に当たり、特に留学生の選考等に協力していくつもりである。写真は、福島民報・令和4年2月10日付の掲載記事である。



## ホームページの 運用状況報告

—創設19年目—

<http://www.tokyo-kuwano.com/>

芳賀 雅美 (86期)

(東京桑野会ホームページ委員長)

昨年も一昨年に引き続きコロナ災厄に揺れ動いた。幸いなことに欧米には遅れたものの日本でもワクチン接種が進み、国民の8割は免疫抗体が得られたようである(2022年1月末時点)。ただしワクチンの有効性には限界があり、また新型の変異株も出現しておりインフルエンザワクチン同様に定期的な追加接種が必要となったようだ。ワクチン接種が遅れている国々がまだあり、全世界で安心と安全が得られるにはもう暫く時間が必要と考えられる。

多くの犠牲者を出した新型コロナウイルス感染症「COVID-19」は、約100年前のスペイン風邪に匹敵するパンデミックとして歴史に刻まれることになった。

コロナ禍で東京桑野会の活動はまた大きく制限され、昨年も行事は全て中止となった。また21年間の長きにわたり会長として重責を担ってきた古川清さんが肺がんのため逝去され、後任として浅川章さん(76期)を第6代会長に選任する運びとなった。さらに新会長人事として、幹事長交代があった。新幹事長には石井俊一さん(82期)が指名され、事務局が神田から銀座八丁目の「石井総合事務所内」に移転した。JR新橋駅からも近く、金春通り沿いの青柳ビルの7階になっている。事務局として皆さんのお世話を務めるため、責任は重大である。

特筆すべきニュースとして、当会ホームページについて2006年3月以来となる15年ぶりの全面更新を実行した。構想1年、基本設計3ヶ月、システム設計1ヶ月、プログラム制作と検証デバッグに1ヶ月を要し、2021年4月1日にリニューアルオープンに漕ぎつけたのである。ぜひご覧いただきたい。

ホームページ運営上のトラブルとしては、久々にサーバーダウンがあった。6月28日深夜から30日正午過ぎにかけて、37時間余にわたり閲覧が全く不能もしくはつながりにくくなってしまった。外部からのサイバー攻撃ではなく、単純にプロバイダーでの作業ミスである。サーバールーム内でのラック交換とリプレイス作業のため5分ほどシャットダウンしたところ、再

奮い立て我健男児

大矢 真弘 (88期)

株式会社 櫻井計画工房

取締役 一級建築士

櫻井 淳 (78期)

郵便番号: 231-0014

住所: 横浜市中区常盤町2-10

常盤不動産ビル2F106

TEL: 045-663-9271

FAX: 045-663-9273

晴海パートナーズ法律事務所

弁護士 後藤 大 (107期)

マネージングパートナー

〒104-0045

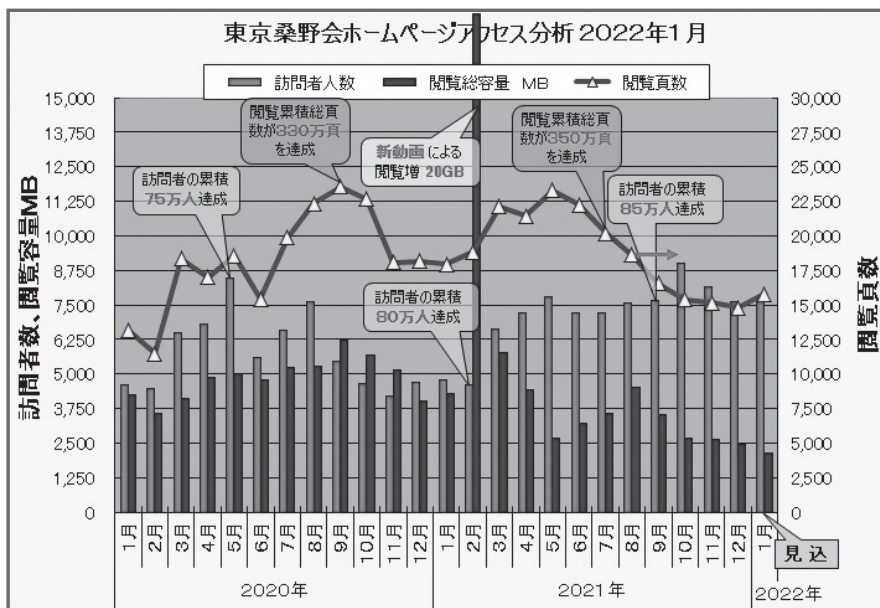
東京都中央区築地2-15-19

ミレニウム築地6階

E-mail: gotodai@harumi-partners.jp

「晴海パートナーズ」で検索ください

TEL: 03-6264-1588 / FAX: 03-6264-1589



東京桑野会ホームページへのアクセス状況

接続後の機器が起動しなかったとのことである。またバックアップ機器が連携せず、ハード面でのインシデンスも重なってしまった。会員の皆さまには多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。その他では、悪意のある第三者のハッキング等による不具合の発生はなかった。恒例によりこの1年間の運用状況を下記しておく。

19年目についての改訂や追加コンテンツについては以下の通り。

- (1) ホームページの全面更新を実施した。
- (2) 事務局移転に伴う、表記並びに地図について更新した。
- (3) 会長及び幹事長交代に伴う、写真の入れ替えと就任挨拶文を挿入した。
- (4) ホームページ全面更新に伴い、過去記事の選択的削除と記念行事記事の

アーカイブ化を実施した。

(5) 会員投稿のブログ形式記事については、2件を追加掲載した。引き続き会員の皆様からの投稿や情報提供を切に望んでいる。

(6) 例年通りではあるが、会長の新年度ご挨拶、役員・幹事名簿の更新を実施した。総会・懇親会の中止連絡、諸行事の中止連絡を掲載した。

(7) たいへん残念なお知らせとなったが、古川清会長（63期）が、昨年4月に逝去され、ニュース欄と会員動向掲示板の2ヶ所に報告した。当会の維持拡大に多大なご尽力を賜り、その数々の業績を称え深く哀悼の意を表す。合掌。

ホームページ掲載記事の入手については、今後も一層の努力をしていきたい。

次いで当会ホームページへのアクセ

ス状況について詳述する。

(1) 過去2年間分についてグラフで示しておく（別掲の図を参照：今年1月は見込みの数値）。

(2) グランドオープン以来、昨年9月に訪問者総数が85万人に達し、同年7月には閲覧総頁数が350万ページビューに達した。閲覧数は、堅調に推移している。

(3) 昨年2月の閲覧容量が月間で20GBと異常に増加しているが、映画「百万人の大合唱」（1972年公開）の動画が投稿され、多くの会員諸兄に閲覧された。しかしながら著作権法違反に相当する恐れがあり、管理者特権で2月末に削除したためである。

(4) この1年間の平均で、月間訪問者7614人、閲覧総頁数18695頁となっているが、訪問者数で前年比+30.6%の大幅増、閲覧総頁数では前年比▲2.8%のやや減となった。

訪問者数については、ホームページ全面更新の効果があつての増加と推定される。閲覧総頁数については、旧ホームページと比較してコンテンツを大幅に削減した影響が出たのかもしれない。月間平均で閲覧総頁数2万ページビューを越えたいと個人的には考えていたが、かなり近い数値ではあるものの未達になっている。引き続き会員の皆様のご協力を賜りたく切に望んでいる。またコンテンツや情報の提供につきましても、随時事務局へご連絡頂きたく、再々であるがご協力についてこの場を借りて改めてお願いをしたい。情報がなければ内容の更新ができず、閲覧を求めるにはホームページの鮮度管理が大切であることは言うまでもない。

あらゆる**木質の床**を心を込めて施工します。  
OK工法(床工事・内装工事)・調湿床・乾式調湿床・フローリングボード  
 フローリングブロック・縁床・ネダホーム・OAフロアーその他工事

**木質床(フローリング)施工**  
**孝和建商株式会社**  
 千葉県中央区沙見丘町16番12号  
 取締役総務部長 **小林伸久(84期)**  
 電話:043-245-4111 FAX:043-244-9550  
 携帯:080-2045-0962  
 E-mail:nobuhisakoba@docomo.ne.jp

**新神田法律事務所**  
 弁護士 **上石利男(80期)**  
 〒101-0044  
 東京都千代田区鍛冶町2-9-5 東園ビル7階  
 TEL:03-3252-9671/FAX:03-3252-9673  
 E-mail:shin9671@athena.ocn.ne.jp

新神田法律事務所

株式会社開成プランニング 代表取締役  
 (http://www.kaisei-planning.co.jp)

**和田正哉(77期)**

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-2  
 勤務先電話: 03-3230-8001  
 FAX: 03-3230-8550  
 携帯: 090-3236-3883  
 e-mail: wada@kaisei-planning.co.jp  
 携帯mail: wada-masanori@docomo.ne.jp  
 自宅電話: 047-332-2287



## 令和2年度決算報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	決 算 額	予 算 額
<b>1 収入の部</b>		
(1) 前年度繰越金	147,623	147,623
(2) 年会費収入	834,000	850,000
(3) 総会費収入	0	0
(4) 協賛広告料	351,000	360,000
(5) 受取利息	2	3
(6) 雑 収 入	0	30,000
収入合計	1,332,625	1,387,626
<b>2 支出の部</b>		
(1) 総会懇親会費	0	0
(2) 通 信 費	43,535	50,000
(3) 会 議 費	0	0
(4) 会報作成費	347,600	347,600
(5) 会報発送費	269,046	269,047
(6) 事務消耗品費	96,391	150,000
(7) 母校後援費	0	20,000
(8) 冠婚葬祭費	0	20,000
(9) 支払手数料	69,119	50,000
(10) 人 件 費	300,000	360,000
(11) 交 通 費	0	30,000
(12) 名簿編集費	0	0
(13) ホームページ・広報部会運営費	24,960	30,000
(14) 雑 費	0	10,000
(15) 予 備 費	0	50,000
支出合計	1,150,651	1,386,647
次期繰越金	181,974	979

## 令和3年度予算案

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	予 算 額
<b>1 収入の部</b>	
(1) 前年度繰越金	181,974
(2) 年会費収入	830,000
(3) 総会費収入	0
(4) 協賛広告料	350,000
(5) 受取利息	2
(6) 雑 収 入	0
収入合計	1,361,976
<b>2 支出の部</b>	
(1) 総会懇親会費	0
(2) 通 信 費	50,000
(3) 会 議 費	0
(4) 会報作成費	342,760
(5) 会報発送費	256,535
(6) 事務消耗品費	100,000
(7) 母校後援費	20,000
(8) 冠婚葬祭費	20,000
(9) 支払手数料	70,000
(10) 人 件 費	360,000
(11) 交 通 費	30,000
(12) 名簿編集費	0
(13) ホームページ・広報部会運営費	30,000
(14) 雑 費	10,000
(15) 予 備 費	30,000
支出合計	1,319,295
次期繰越金	42,681

### 3 財産目録 (令和3年3月31日現在)

#### A 特別会計

事業準備積立金 定期預金 (三井住友銀行) 1,068,013

#### B 現預金

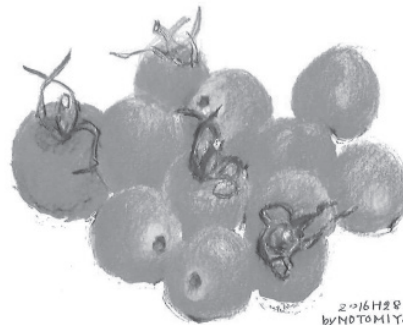
(1) 普通預金 (三井住友銀行) 67,562  
 (2) 郵便振替貯金 89,385  
 (3) 現 金 25,027

上記は監査の結果いずれも適正なものと認める。

令和3年4月6日

会計監査 関 根 健 治

会計監査 宗 像 良 保



2016.12.8 26  
 by NDTOMIYA  
 KOKUBUN SYOJIT  
 "delicious" "Tomato"  
 a painter YUTAKA JAKAMATSU

### 石井総合事務所

司法書士・行政書士

石井 俊一 (82期)

〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15  
 青柳ビル7階

TEL :03-3289-1411  
 FAX :03-3289-1422  
 E-mail : s-ishii@e-1411.com  
 http://www.e-1411.com

### 【協賛広告のお願い】

東京桑野会会報は、三千数百部を発行し、母校・安積高校や福島県立図書館などにも納入されております。“安積卒業生の心意気”を協賛広告で示してみませんか。お問い合わせは事務局まで。

### 【会費納入のお願い】

東京桑野会の活動は、会員の皆様の会費によって支えられています。会報の作成・送付も会費によって賄われています。現在、会報を送付している会員からの会費納入の達成率が低迷し、東京桑野会の財務が逼迫しつつあります。東京桑野会の健全な財務状態を維持するためにも会費納入をお願いいたします。(東京桑野会は安積桑野会とは別会計となっておりますことご承知ください)

故郷を味わう、故郷に触れあう

そば うどん 酒処

# 鞍手茶屋

昼はボリュームたっぷりで  
ヘルシーな そば・うどん  
夜は品揃え豊富な  
東北の地酒で一杯

大手町店 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービルB1 ☎03-3213-2385

中山峠店 〒963-1304 福島県郡山市熱海町国道49号線中山峠 ☎024-984-3774 〈店主〉上野千恵子

## 編集後記

### 【新幹事長ご挨拶】

この1年半ほどで古川会長をはじめ齊藤会長代行や高松副会長のご逝去、コロナ禍による総会の中止等々、いろいろなことが起きました。また目下のところ、当会の全ての行事開催の見通しはたちません。会員の皆様には、いかがお暮らしてでしょうか？

さて、諸般の事情により、これまでの幹事長でおられた上石様から82期の私、石井俊一が暫時事務局をお預かりすることになりました。これまで幹事長として多大な貢献をされて来られました上石先輩に、厚く御礼と感謝を申し上げます。引き続き、東京桑野会にご協力を賜りたいと存じます。

とはいえ、お預かりはしたものの何分不慣れなわたくしのこと、当初は何かと皆様にご迷惑をおかけすることもあろうかと思ひます。その節は、どうぞ暖かいお叱りを賜りたいと存じます。簡単ではございますが、幹事長就任のご挨拶とさせていただきます。

(石井俊一)

コロナ禍は、ワクチン接種、3密回避、マスク着用、うがい・手洗いの励行の感染対策を徹底すれば、対岸の火事と高をくくっていた。ところが、2度のワクチンを済ませ、今年3月に3度目接種を予定していた妻が、3月初めに発熱しPCR検査の結果、週末土曜に「陽性」反応が出た。直ちに会社に報告した私は、「濃厚接触者なので月曜から当分の間出社禁止」の指示を受けた。最近「濃厚接触」と言われるほどラブラブではなかったが、念のため月曜にPCR検査を受け、「陰性」判定に胸をなでおろした。その後妻もかかりつけ医の薬が効いて検査の翌日には平熱に戻った。コロナ禍で苦しんでいるのは世界共通事象だが、ロシアのウクライナに対する侵攻激化を目的

当たりにして、平和な日本にしているのありがたさをかみしめています。北朝鮮による日本海へのミサイル発射、中国やロシアの軍艦が日本の領海をわが物顔で航行するなどの不愉快な現況もあるが、国際平和を希求して、朝河貫一先輩が太平洋戦争を阻止しようと当時のアメリカ大統領に働きかけた業績を、気持ちだけでも継承したいと思う。（@91まだ現役組）

会報44号の表紙の旧本館の正門の写真で、昭和46年撮影と記され、貴重な旧本館写真です。建築設計の大先輩である、水口さんの遺稿が44号に掲載され、東京桑野会で、「この柱は不自然である」、と昔、高松画伯と議論していたことを思い出した。水口先輩原稿によれば、当時の西洋建築を知らない棟梁たちの創意工夫が素晴らしく、現在は鉄骨で当時の姿に戻され、その違和感あるファサードは修復された。修復以前の違和感ある貴重写真が掲載された表紙は貴重品です。◆44号は節目の号になりました。古川会長がお亡くなりになり、そして上石幹事長が石井さんに替われ、本当に上石さん長い間お疲れ様でした。これからは石井さんよろしくお願ひします。◆昨年は本当にコロナに始まりコロナに終始しました。今年の東京桑野会は是非リアルで、椿山荘で6月3日（金）に集まりたいものです。椿山荘でホテルを見ながら話すのも「いいんでないかい」（78期・櫻井淳）

いささかウンザリしてきたが、コロナに明け暮れる日は続いている。分類上は高齢者なので、昨年7月にはワクチンを2回打った。半年以上経過したので、そろそろ効き目も薄れてきたかと戦々恐々だったが2月12日に3回目のワクチンを無事に接種できた。かつての日常はいつになったらやってくるのか。またもや東京桑野会の活動は停止し、今年の定期総会の開催も危ういところである。早く感染拡大を防止しないと、日本経済どころか日本人も

滅亡する。現政権はどこまで腹をくくって実行できるのか、不安は残る。

壊れたテーブルコーダーの様だが、全国民はとにもかくにも感染防止の基本策を忠実に遵守し、マスク手洗い不要不急の外出の自粛を守って欲しい。ワクチンだけでは集団免疫は得られそうもない。

2019年5月に東欧3か国を巡ったが、その旅行の続きがしたいと常々想っている。（がっちゃん）

今号の特集は、東京桑野会の近未来とし、その副題は新型コロナウイルス禍を超えてとしました。新型コロナウイルス禍も、オミクロン株は弱毒化したもの？、しかし感染力が強いので油断ならない？というように落ち着きません。もう2年も続いているので、なんとかなっていて欲しいですね。さて、様々な制限があって、特に高校生や大学生といった若い世代の人たちの閉塞感は大いように思います。折角の黄金の日々であるべき学校生活の意義が、制限されてしまうのは忸怩たる思いです。さあ若き安積OB・OGの皆さん、どうか東京桑野会にいらして下さい。新型コロナウイルス禍の鬱憤を晴らすような、新しい出会いがあります！（GF91）

### 『東京桑野会会報』No.44

2022年4月1日発行

発行・編集人●石井俊一

発行所●東京桑野会

〒104-0061

東京都中央区銀座八丁目8番15号

青柳ビル7階

石井総合事務所内

Tel 03-3289-1411 Fax 03-3289-1422

E-mail asaka@tokyo-kuwano.com

URL <http://www.tokyo-kuwano.com/>

製 作●株式会社キタジマ

〒130-0023 東京都墨田区立川2-11-7

Tel 03-3635-4510 Fax 03-3635-4515